

中央会ふくい

No.179

Collaborate Fukui 2021.1

特集

ものづくり補助金 活用事例



◎ 組合紹介

赤帽福井県軽自動車運送協同組合
敦賀木炭生産協同組合

◎ 組合 TOPICS

福井県菓子工業組合



福井県中小企業団体中央会

<https://www.chuokai-fukui.or.jp/>

中小企業大学校 金沢キャンパス 北陸の中小企業の人材育成を応援します

研修体系図（2020年度）

研修分野	対象者	経営者 ● 代表者 ● 役員	経営幹部 ● 部長 ● 部門長	管理者 ● 課長	新任管理者 ● 新任課長 ● 候補者
階層別					新任管理者研修
組織マネジメント					コミュニケーション活性化講座 リーダーシップ強化講座
企業経営・経営戦略		経営戦略策定講座 経営者トップセミナー			
人事・組織		人材育成の考え方・進め方			
財務管理					決算書の読み方講座
営業・マーケティング					新規顧客開拓の進め方
生産管理					生産現場の問題発見講座

日程、内容、お申し込みは

中小機構 金沢キャンパス

検索

※研修コースを追加する可能性があります

国が作った
制度なので安心・安全

小規模企業共済

私たちも加入できる経営者のための退職金制度!!

★詳しくはホームページをご覧ください。

小規模共済

検索



飲食店のオーナー



ヘアサロンの経営者



花屋のオーナー



クリニックの開業医



町工場の経営者



独立行政法人 中小企業基盤整備機構 北陸本部

TEL:076-223-5573 (金沢キャンパス) TEL:050-5541-7171 (小規模企業共済)

おめでとうございます

令和2年 秋の叙勲

業界における永年の優れたご功績によって、この秋の叙勲を受章された本会関係者をご紹介します。
栄えある受章を心からお祝い申し上げますとともに、今後ますますのご隆盛をご祈念申し上げます。

瑞宝単光章



(伝統工芸業務功労)
タケフナイフビレッジ協同組合

理事長

北岡 英雄

contents

Collaborate Fukui No.179

2	新年のごあいさつ
7	第72回中小企業団体全国大会開催 ふくい青年中央会 活動紹介
8	福井県レディース中央会 活動紹介
9	新規設立組合紹介 ・福井県スケルトン事業協同組合 ・福井グルマンディーズ事業協同組合
10	組合紹介 ・赤帽福井県軽自動車運送協同組合
11	・敦賀木炭生産協同組合
13	組合TOPICS 福井県菓子工業組合
14	ものづくり補助金活用事例紹介 ・吉田酒造有限会社

広告募集

Collaborate Fukui に広告を
掲載しませんか？

★Collaborate Fukuiは会員組合や関係機関に年4回発刊しています★

組合や組合員企業にPR、宣伝をしたいイベント情報を大募集！

イベントの告知等にぜひご活用ください！

掲載方法やサイズは様々です！

福井県中小企業団体中央会
TEL 0776-23-3042

お問い合わせは
中央会まで





新年のごあいさつ

福井県中小企業団体中央会

会長 稲山 幹夫

新年明けましておめでとうございます。

令和3年の新春を迎えるに当たり、本会の会員組合の皆様、関係団体の皆様をはじめ、県内中小企業・小規模事業者の皆様に、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年を顧みますと、新型コロナウイルス感染症の影響により生活様式が一変し、これまでに経験したことのない1年でありました。また、完全なる終息が見えない中、日本のみならず世界を取り巻く経済環境にも大きな影響を及ぼし、業界を問わず先行きへの不安感が高まっております。

本県においても、小売業・観光関連産業を中心に急激に落ち込み、本県の基幹産業である繊維やめがねなど幅広い業種で大きな影響を受けました。緊急事態宣言解除後、国や県の需要喚起策により、小売業や観光関連産業を中心に、一旦回復の兆しが見えたものの、年末にかけて新型コロナウイルス感染症に終息が見られず、先行き不透明のままの年明けとなりました。

こうした中、本会ではコロナ禍で厳しい経営を余儀なくされている県内中小企業・小規模事業者の皆様に対し、雇用調整助成金や各種給付金、制度融資等の施策の活用など、組合を通じて、事業の継続を強力に支援する所存です。

また、AI・IoTをはじめとするデジタル技術の進展により、中小企業・小規模事業者でも導入しやすい環境が整ってきましたが、個々の企業で取り組むよりも、業界や企業が連携し取り組むことで導入が早まることもあり、中小企業組合を通じて、デジタル化による生産性向上や新たなビジネスモデル構築を支援してまいります。

さらに、自然災害や今回のような感染症のまん延等不測の事態が生じた場合に、事業や業務を中断させない、中断しても早期に復旧させる、組合や企業の事業継続力支援についても力を入れてまいります。

本会は、会員組合の皆様をはじめ関係団体の皆様、中小企業・小規模事業者の皆様とより一層連携を深め、地域経済を支えるための支援機関として、ご期待に応えられますよう役職員一同心新たに全力を投入する所存でございます。

また、前年実施した本会各事業につきまして、関係各位のご協力に深く感謝申し上げますとともに、本年も皆様の更なるご支援、ご協力をお願い致したく存じます。

結びに、本年が皆様にとりまして、ますますご発展される1年となりますことを心よりご祈念申し上げます。



新年のごあいさつ

福井県知事

杉 本 達 治

福井県中小企業団体中央会のみなさま、新年あけましておめでとうございます。お健やかに新春を迎えられたことを心からお喜び申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の「感染拡大防止」と「経済再生」の両立に向けた対策に全力で取り組んでまいりました。事業者、県民のみなさまのご協力に感謝申し上げるとともに、引き続き、県民一丸となってこの危機を乗り越えていきます。

さて、昨年七月には延べ五千人を超える県民の参画により「福井県長期ビジョン」を策定しました。みなさまとともに作り上げたこのビジョンを道しるべとして、「『安心のふくい』を未来につなぎ、もっと挑戦!もっとおもしろく!」をテーマに、県民一人ひとりが自分らしくチャレンジできる「誰もが主役のふくい」を実現していきたいと思います。

新しい年は、長期ビジョンに掲げた政策を着実に実行していく年です。

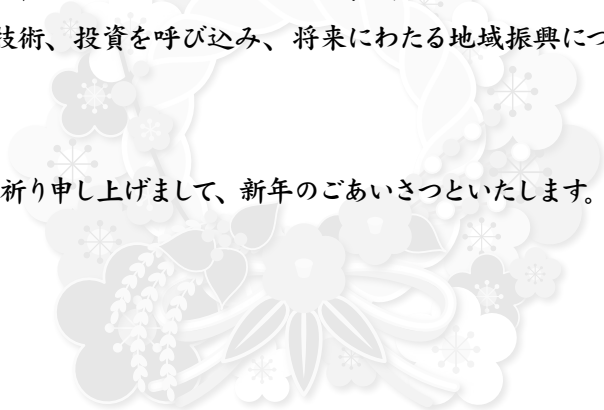
北陸新幹線福井・敦賀開業に向け、百年に一度のまちづくりを進め、交流・関係人口を拡大するとともに、新産業の創出や起業家・ベンチャー企業の育成、稼げる農林水産業の実現などにより県勢を次のステージへと引き上げます。

また、「生活」「産業」「行政」の各分野においてDX(デジタルトランスフォーメーション)を積極的に推進し、地域課題の解決や新たな価値創造につなげていきます。

さらに、日本一の出会い・子育て応援や一人ひとりの個性が輝く教育、多様な人材の活躍応援、医療・介護・福祉の充実、防災・治安対策の強化など、SDGsの理念に沿った持続可能で安全・安心な社会を目指します。

原子力・エネルギー政策は、国が確固たる道筋を示し、責任ある政策を実行するよう強く求めるとともに、県民の安全・安心を最優先に取り組んでまいります。2050年のゼロカーボン実現に向け、再生可能エネルギーを含む多様なエネルギーを活用するとともに、人や企業、技術、投資を呼び込み、将来にわたる地域振興につなげてまいります。

年頭に当たり、みなさまのますますのご多幸とご活躍をお祈り申し上げまして、新年のごあいさつといたします。





年 頭 所 感

近畿経済産業局

局長 米 村 猛

令和3年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は、コロナ禍により関西経済も大きな落ち込みとなりました。まだ収束が見込まれず厳しい状況にありますが、生産や消費に一部持ち直しの動きが見られ、ポストコロナを見据えたニューノーマルへの転換やデジタル化の動きも活発化しています。2025年大阪・関西万博への具体的動きも始まり、本年は、国内外から大きな注目が集まる1年となります。

近畿経済産業局では、これらを踏まえ、以下の3つのキーワードのもと、様々な取組を行っていきます。

一つ目は、「中堅・中小企業支援」です。

コロナ禍で社会、経済が多大な影響を受けています。医療関係者始め、この瞬間も社会を支えるために献身的に頑張っておられる皆様に感謝と敬意を表します。そして、事業継続に大変なご苦勞をされている事業者の方も、沢山いらっしゃると思います。当局では、本年も、そうした方々に、コロナを乗り切るための資金支援など、しっかり取り組みます。このためにも、関係する独立行政法人や支援機関等のネットワークを一層強化していきます。

また、雇用面での不安もありますが、当局と2府5県の労働局等が広域の「オール関西連携スキーム」を構築したので、これを活用し、人材マッチング支援等に取り組みます。

また、ポストコロナ・ニューノーマルも見据え、デジタルトランスフォーメーションの推進や新分野への挑戦が求められる転換期でもあり、事業再構築支援を通じた体質強化も重要です。新時代に適応するためのAIやIoT等新技術導入やデジタル技術の活用促進、新分野・販路の開拓に挑戦する企業支援にも力を尽くします。

二つ目は、「イノベーションの支援」です。

関西は多くの優れた大学や研究機関等があり、創造的な企業も多く、まさに「知のナショナルセンター」と言えると思っています。

昨年は、この位置づけを強化する大きな動きが幾つもありました。例えば、シリコンバレーのようなグローバル拠点を狙う「スタートアップエコシステム拠点都市」に京阪神が一体で選ばれましたし、現状全国で2つだけの「産学融合先導モデル拠点」に「関西イノベーションイニシアティブ」が採択されました。また、当局と在関西7つの独立行政法人等が結集して社会的課題解決のマッチングを行う組織「関西・共創の森」も始動しています。引き続きこれらがフル稼働し、具体的な成果が続々と出てくるよう支援してまいります。

スタートアップについても、「J-Startup KANSAI企業」に31社を選定しました。これらの企業を国内外に発信するとともに、地域ぐるみで支援をしていきます。また、「関西ベンチャーサポーターズ会議」や関係機関と連携を図り、多くの起業家・投資家を関西に惹きつける取組等を行います。

エネルギー分野については、「関西スマートエネルギーイニシアティブ」の取組があります。関西発エネルギー・環境イノベーションを創出し、水素活用など国内外へ展開するスマートエネルギービジネス推進の拠点形成へのアクションを充実させていきます。

三つ目は、「地域ブランドの支援」です。

関西には様々な産業・文化が集積しており、私自身、非常に魅了されています。この魅力を、大きく海外まで羽ばたかせる試みとして、昨年、「地域ブランドプロジェクト」を開始しました。地域産品のブランド化、ひいては地域自体のブランド化を目指して、産業界、自治体、支援機関と一緒に検討していくもので、10の地域と進めていくこととしました。目指すは「地域ブランドエコシステム」形成です。ブランド育成から商品・サービス開発、販路開拓・海外展開まで支援し、他地域にも活用できるモデルを構築したいと思います。

以上3つ申し上げましたが、共通するのは「エコシステム」「ネットワーク」です。様々な主体(企業、支援機関、自治体等)が独自のネットワークと経営資源・支援策を有しています。これがつながることで、一段大きな進化、好循環のエコシステムが生まれると期待しています。「オープンイノベーション」とも、「ネットワークのネットワーク」と言っても良いと思いますが、当局は、この「結節点」を意識します。そのためにも、皆様との接点をたくさん作り、ネットワークに加わっていただけるよう努めます。

その先に「大阪・関西万博」があります。あと4年余りです。当局も、万博が地域と産業の力となるよう、「万博活用戦略」と称し、ムーブメント化に尽力します。

現下、コロナ禍の大変な中ですが、万博の存在は、間違いなく「関西の希望」です。万博に向けて、関西が、「最高にイノベティブな地域」に、「最高のブランド価値をもつ地域」に、そして、「中堅・中小企業が最高に輝く地域」になるべく、様々な志のベクトルを合わせるというミッションを、当局がしっかり果たしていきたいと、年頭に当たり強く念じます。

結びに、改めて、皆様の御多幸と御健勝を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。



年頭に当たって

全国中小企業団体中央会

会長 森 洋

明けましておめでとうございます。令和3年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返りますと、全世界を通じて新型コロナウイルス感染症という未知のウイルスの発生に苦悩する1年となりました。加えて、豪雨災害の発生、人材不足、事業承継問題、働き方改革への対応等も相俟って、中小・小規模事業者は、事業存続の危機的状態に直面しました。また、昨年9月に「自助・共助・公助、そして絆」を政策理念に掲げる菅新政権が誕生しました。菅政権の下、新型コロナウイルスの収束に向けて、効果的な感染拡大防止対策と経済の回復を両立させる政策を実行していただいております。足腰の強い中小・小規模事業者の実現に向けた政策推進が期待される一方、DXをはじめとする改革実行により、中小・小規模事業者自身の経営変革が迫られています。

このような状況の中、中小・小規模事業者は、デジタル化による生産性向上が急務であり、個々の自助努力に加えて、中小企業組合等による企業間の連携強化、共同化・協業化、経営資源の集約化を通じた取組みが重要になっています。

昨年10月22日に茨城県のザ・ヒロサワ・シティ会館にて開催した第72回中小企業団体全国大会では、全国各地から中小企業団体の関係者380名に加え、オンライン配信での多数の参加を得て、新型コロナウイルス感染症及び多発する自然災害からの復興支援を図るとともに、ものづくり支援、取引力の強化や経営基盤の強化支援等の拡充等を決議し、政府・与党、関係機関等に要望をいたしました。

全国中小企業団体中央会は、都道府県中央会とともに「つながる ひろげる 連携の架け橋」のスローガンの下、組合が持っている企業同士の「連携力」を大いに発揮し、サプライチェーン全体の共存共栄と新たな連携を構築すべく活動してまいります。

新型コロナウイルス感染拡大防止と経済活動の両立、とりわけ、需要の縮小とそれに伴う倒産と廃業の増加を克服すべく、新分野進出、業態転換、事業転換、事業承継、デジタル化など様々な課題に果敢に挑戦する中小・小規模事業者を全力で応援してまいります。

また、本年は、東日本大震災から10年が経過する節目の年であります。我が国が一丸となって新型コロナウイルス感染症を克服し、東京オリンピック・パラリンピックの開催を通じて、世界に、災害からの復興と日本の中小・小規模事業者の魅力を発信する絶好の機会となることを願っております。

結びに、本年が中小企業組合と中小・小規模事業者の皆様にとりまして、安心して事業活動を行う環境が整い、新たな成長への道筋をつける1年となりますことを心よりご祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和3年元旦



新年のごあいさつ

株式会社 商工組合中央金庫

福井支店長 出口 典 正

新年明けましておめでとうございます。

謹んで新春のお慶びを申し上げますとともに、福井県中小企業団体中央会、並びに会員の皆さまから頂戴したご支援、ご愛顧に対しまして厚く御礼申し上げます。

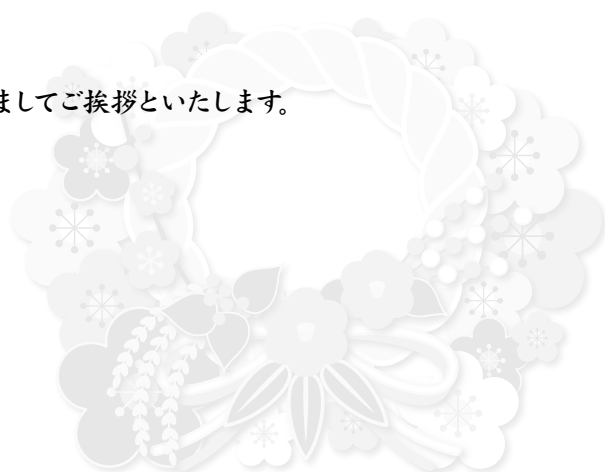
昨年は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、わが国の経済社会活動は大きく停滞いたしました。緊急事態宣言による営業活動の自粛や入国制限によるインバウンド需要の蒸発などにより直接的な影響を受けた飲食・宿泊業だけでなく、様々な事業者が広範な影響を受けました。さらに、在宅勤務や時差出勤といった柔軟な働き方への対応など、中小企業の経営は、従前にも増して多様化が求められています。

このような中、商工中金は、危機対応業務をはじめとする円滑な資金繰り支援に全社を挙げて取り組みました。コロナウイルスの影響はまだ予断を許さない状況が続いていますが、新常态と呼ばれる新しい生活様式の定着と産業構造の大きな変革も見据えて、真にお客さま本位で長期的な視点から、中小企業組合と中小企業の皆さまの企業価値向上に貢献してまいります。

具体的には、ウィズコロナを見据えた事業転換や新事業への進出、業務のデジタル化、経営改善、事業再生などに取り組む中小企業の皆さまに対する支援を重点的に行ってまいります。接触が難しい中でもオンライン会議などを活用して日ごろからのリレーションを一層強化し、お客さまの経営課題やニーズを深掘してまいります。さらに、中央会様をはじめ、地方公共団体、地域金融機関、外部専門機関等の各機関との連携・協業を密に行い、当金庫の特長を生かしたソリューションを提供してまいります。

「中小企業による、中小企業のための金融機関」として、皆さまから信頼され、支持され、これまで以上にお役に立てるよう、役職員一同、全力で努力を続けてまいりますので、今後とも格別のご指導とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、皆さまのご繁栄とご健勝をお祈りいたしましてご挨拶いたします。



第72回中小企業団体全国大会が開催されました

「第72回中小企業団体全国大会」が10月22日、「ザ・ヒロサワ・シティ会館」（水戸市）において、新型コロナウイルス感染拡大防止措置を講じた上で開催され、梶山弘志・経済産業大臣等のご臨席の下、全国から中小企業団体の代表者約380名が参集しました。

本大会では、中小企業・小規模事業者等の生産性向上・経営強靱化支援等の拡充、中小企業・小規模事業者の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進、中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備など21項目を決議しました。

また、本会の稲山幹夫会長が「デジタル化など生産性向上への取組み」と題して意見発表を行い、本大会の意義を内外に表明するため、山本主税・茨城県中小企業青年中央会会長が「大会宣言」を高らかに宣しました。

来年度の第73回全国大会については、令和3年11月25日(木)に、神奈川県において開催することを発表し、大会旗が全国中小企業団体中央会森会長から坂倉徹・神奈川県中小企業団体中央会副会長へ継承され、坂倉副会長が次期開催地会長挨拶を行い、閉会となりました。

ふくい青年中央会 活動紹介

青年中央会メンバーのお会社見学！UBAチャンネル

福井県中小企業団体青年中央会（ふくい青年中央会）は、福井発の内需拡大策「どうせ買うなら運動」（どうせ買うなら（頼むなら）メンバーへ）の一環として作成した“ふくい青中図鑑”の掲載メンバーを随時追加するとともに、連携推進に活用できるようバージョンアップし、会社・業界PR動画をYouTubeチャンネル「ふくいUBA」にて発信しています。

現在（1/7時点）アップされている動画本数は16本。UBAチャンネル担当メンバーが熱くそして面白くメンバーの会社や商品について説明しています。動画を作成するに当たり、ユーザー（県内外のUBA会員）に求められる情報や、情報として有益なもの、エンタメ性があり楽しめるもの、ユーザーが見る価値があるものを提供する点を意識して動画を作成しています。



▼掲載動画はコチラからご覧いただけます。（YouTubeにて「ふくいUBA」と検索）
<https://www.youtube.com/channel/UCXVWTUh2kJQoFHpQpOlaxhw>

福井県レディース中央会 活動紹介

視察研修会を開催しました ～株式会社米五～

令和2年12月10日、11日の2日間に亘って視察研修会を開催し、38名の方にご参加いただきました。

開催にあたっては、新型コロナウイルス感染症防止のために対策を十分に行いました。

今回の視察先は、みその製造販売を行う株式会社米五（福井市春山）。天保2年(1831年)創業の老舗で、2018年6月に味噌を楽しむ施設「みそ楽」をオープンしました。どのような思いでこの施設を設けたのか、またどのような効果が表れているかを、代表取締役 多田 和博 氏に講義及び工場案内をしていただき、実際にお客様が体験されている「みそ作り体験」も行いました。

株式会社米五の扱う味噌は食品であり、売り上げが景気に左右されにくい業界ではありますが、福井県内の人口流出が続く回復の兆しも見えず、長期的には県内での味噌消費人口が減ることに不安を感じていました。県内のお客様を増やし、県外からも購入してもらうために、観光要素を取り入れようということから、味噌を楽しむ施設「みそ楽」の構想がスタートしました。事業の立ち上げは、購買者の大部分を占める「女性」の視点を活かすため、社内の若い女性社員を中心に取り組み、「みそ楽」は「買う」「食べる」「育てる」「体験する」「学ぶ」のすべての体験ができる施設となりました。なかでも、「食べる」を叶えるレストランmisolaは、提供するすべてのメニューに味噌や麴を使い、食べて楽しみ、かつ、お味噌汁だけではない味噌の使い方を知ることができるため、施設のオープンから現在に至るまで、平日土日問わず、絶えず女性客を中心にお客様が来店され、商品の販売量も増えているとのこと。

工場見学では、昔ながらの製造工程などの残すべきところは残し、時代に合わせ変えていかねばならないところは変えていくという柔軟な企業姿勢に触れることができました。

みそ作り体験では、参加者1人につき1.8kgの味噌を仕込み、大豆と塩と麴を均等に混ぜ合わせる工程は汗をかく程に体力を使い、「味噌が買えるありがたみがわかった」との声もありました。発酵に関しても同時に学べ、味噌が体に優しい食材であることを再認識する機会にもなりました。

企業の取り組みを体験することで、ご自身の所属されている業界や職務において、なにかヒントを得られる機会になったのではないかと思います。また、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、みなさん人との交流の機会が激減しており、久しぶりの会員同士の交流を本当に喜ばれていました。



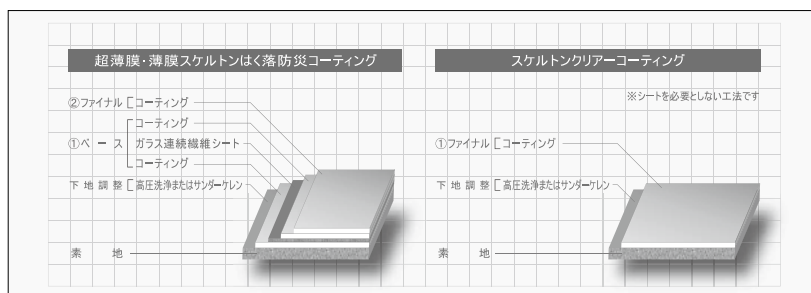
▲株式会社米五
代表取締役 多田氏



新規設立組合紹介

建物を守る技術集団 ～「壊して造る」から「活かして使う」へ～ 福井県スケルトン事業協同組合

地震や台風などの自然災害が増え、老朽化しているコンクリート建造物の整備が急務となっている現状、経済的・環境的配慮の観点、及び公共事業の縮小から、これまでのように建造物を「壊して造る」ことは困難になっており、「活かして使う」という考え方に変化しつつあります。こうした建設業界の現状から、建造物補修において革新的な工法である「スケルトンコーティング施工」の技術を保有する企業が集まり当組合を設立しました。「スケルトンコーティング施工」を活用し、建造物倒壊という社会問題の解消及び組合員の利益向上を目指して活動していきます。



組合データ

組合名：福井県スケルトン事業協同組合 所在地：福井県福井市大宮6丁目15番24号
組合員数：7社 主な共同事業：組合員の行う塗装工事及び防水工事等の共同受注

福井の食の魅力を発信！

福井グルマンディーズ事業協同組合



福井県の食の魅力向上のために、県内の飲食店・飲食料点小売業・金属製品製造業などを行う者が集まり、「福井グルマンディーズ事業協同組合」を設立しました。

福井県には魅力的な食材・食文化が溢れていますが、観光客や一般消費者に十分アピールできていないのが現状です。1社の者では魅力発信のための投資や能力に限界があり、また、アピールの際の方向性がある程度統一されていないと、観光客には福井の食のイメージが定着しにくいという課題がありました。

この課題に立ち向かおうと、有志の7名が発起人となり事業協同組合という形で、商品や技術の研究を行いつつ新ブランド立ち上げなどの事業に取り組んでいきます。

組合名にある「グルマンディーズ」は、美食探求の実践者という意味があり、福井の食材や食文化を共同で探求し、発信していきたいという思いが込められています。

組合データ

組合名：福井グルマンディーズ事業協同組合 所在地：福井県福井市中央3丁目9番21号(開花亭内)
組合員数：7社 主な共同事業：組合員の行う食品の共同宣伝、新商品若しくは新技術の研究開発

組合紹介

様々なニーズに臨機応変に対応！

赤帽福井県軽自動車運送協同組合

赤帽福井県軽自動車運送協同組合は、軽トラックを使った運送業者で構成された協同組合です。

今回は、『荷主さんの心を運ぶ赤帽車』をスローガンに事業を行っている赤帽組合さんをご紹介します！

◆赤帽組合とは

本組合は1984年に設立され、「貨物の共同受注」「共同配車」を中心に事業を展開しています。

組合員は全員が個人事業主で、引越し業務・貸切便・緊急配送・定期配送・宅配業務・特定信書便の配送などの業務を行っています。例えば、赤帽組合に依頼すると緊急配送では、催事イベントの商品や試作品・展示品などをスピーディーに配送することが可能です。軽トラックでの配送なので狭い道や路地裏などでも荷物を運ぶことができます。

現在は、理事長をはじめとする組合員36名にて、定期便やお客様からの依頼を待つだけでなく、自治体の輸送事業への入札参加やお客様確保のための営業活動など、業務拡大にも精力的に取り組んでいます。

◆組合の強み

本組合では、お客様からの依頼を「出来ない」と断ることがまずありません。受注後に組合事務局が組合員に仕事を振り分ける調整をしています。そのため、急な依頼にも臨機応変に対応できるほか、24時間365日体制でお客様にサービスを提供することができます。依頼は数時間、1日、1週間あるいは月極など、お客様の都合に合わせて可能です。

個人事業主だけでは、繁忙期などには人手が足りず依頼を断ることがありますが、組合だと他の組合員に仕事を頼むことができるので、お客様の依頼はほぼ100%受注しています。

全国組織であるため、県外での仕事の依頼も各都道府県44の赤帽組合と連携し、対応することが可能です。

また、定期的に勉強会を実施するなど組合員の業務品質向上に努め、お客様に安心してもらえるようなサービスをお届けしています。



▲佐々木 敬一 理事長



▲信頼の証「赤帽マーク」

配送のご依頼・
ご相談はこちら

赤帽福井県軽自動車運送協同組合
〒918-8203 福井県福井市上北野1-25-58
TEL：0776-52-0850 FAX：0776-52-1980

お引越し、お荷物・展示品を運んでほしいなど

様々なご要望にお応えします！

100%敦賀産の堆肥・木炭を生産する 敦賀木炭生産協同組合

新型コロナウイルスで外出自粛が求められた3月以降、家庭菜園やおうちBBQを始める人が増えています。今回、それらの趣味にもオススメできる良質の自然発酵堆肥・木炭を生産している事業協同組合をご紹介します。

敦賀市山側に位置する敦賀南インターの近くに加工場を持つ、「敦賀木炭生産協同組合」。

敦賀市内で造園業を営む者が組合員となり構成され、造園業で発生する剪定材等を加工し堆肥や木炭、木質バイオマス燃料を生産しています。現在、組合の売上割合は堆肥50%、木炭(燃料用・新用途用)が30%、木質バイオマス燃料20%となっています。

◆設立のきっかけは「本業の課題」

組合設立のきっかけは、造園業を行う中で出る剪定材や間伐材等の処理に困っていたことと、冬場は仕事が減ってしまうことを解決しようとしたことでした。剪定枝は産業廃棄物でなく一般廃棄物の扱いになり、各事業者が一般ごみとして敦賀市内の処理施設に持ち込まねばならないのですが、市のごみ焼却施設は処理量が増え続けており、施設の能力に限界があるため、自分たちで廃棄物を減らす必要がありました。

また、冬場は造園業の仕事が激減し職人達の手が空いてしまうため、冬場でも安定して稼げるような仕組みが求められていました。

組合を設立し、共同事業として各組合員の剪定材や間伐材を粉碎机でチップ状に碎き、発酵堆肥や木質バイオマスを生産することで、造園業者にとっては「廃棄物」である植物体を「資源」に替えて廃棄物を減らすことに成功、冬場には間伐材を炭焼きして燃料用木炭や土壌改良用・床下調質用といった新用途炭を生産し、本業の課題を解決できるようになりました。

◆樹木医も指名買いする、良質の「自然発酵堆肥」

組合で生産している堆肥は、自然発酵堆肥といい、発酵促進剤を一切使わず、約3年かけて植物の生育に必要な微生物を増殖させ自然の落ち葉に近い形で発酵させて生産します。一般的な肥料等の生産業者では3年も発酵させていると採算性が合わず、発酵促進剤を使用していることが多いようです。木質チップをただ放置すれば必ず発酵するものでもなく、堆肥として製品化可能となる発酵条件を確立するまでは、数年を要したそうです。この工法でできる堆肥は、組合員の造園業でも使用され、植木や花樹の根の張りが良くなるなどの効果が追跡調査により証明されています。現在は敦賀市でしか購入できないのですが、わざわざ福井市から買いに来る方がいたり、樹木医が「これでないと！」と何年も続けて指名買いするほど質の高い堆肥です。



▲主力商品の自然発酵堆肥「エコリよく」
敦賀市農産物直売所「ふるさと夢市場」にて販売中



▲自然発酵中の木質チップ。発酵中は70℃ほどの高温になり、夏場は発火にも注意しながら発酵を進めている。

◆安心安全な木炭

皆さんはBBQ用に木炭を購入するとき、何を基準に選んでいますか？値段の高いものと安いもの、両方ならんでいる店もありますね。敦賀木炭生産協同組合の木炭は、どちらかというと値段の高い炭になります。特徴は、①高温で焼き上げているため不純物が少なく固く良い炭になる、②炭としての燃焼時間が長い(約3H)。よく店頭で見かける価格の安い炭は、海外生産のものがほとんどで、国産のもの比べると低温で生産されるため不純物が混じり、使っているときに炭がはじいてしまったり、燃焼時間が1H程と短く、長く燃やそうとするほど量が必要になってしまうそうです。

上記のことから、炭を使う業者はコストパフォーマンスと安全性を考えて、国産の炭一択だといいます。組合の生産する木炭も、地域のお祭りで長年使っていただくなど、顧客から品質を評価されています。

◆時代が追い付き、仕事がしやすくなる

組合設立当時(平成11年)は、「こんな時代に炭焼きなんて時代に逆行している」といった声もありました。現在は、環境問題も社会全体で考えられるようになり、「脱炭素化」の取り組みとしても組合事業が業界に認められるようになり、以前よりも仕事がしやすくなったそうです。現在は使用できるところが限られている木質バイオマス燃料分野の進展も、今後は大いに期待できそうです。

◆使用効果のデータを集めて商品の魅力を伝え、販路拡大へ

現在、組合で課題に感じていることは「販路拡大」と「商品認知度の向上」です。商品の品質については、自分たちの造園業で使用することで確かめ質の高さには自信を持っていますが、同業以外の農業分野や一般層へのPR不足を感じています。

堆肥については、農業・果樹分野での追跡確認例が少ないため、農家組合に堆肥を配り使っていただいたり、敦賀の伝統野菜「黒河マナ(くろこまな)」「杉箸のアカカンバ(赤カブ)」や「東浦みかん」の栽培元に声をかけて使用していただき効果測定を始めました。作物は生育期間があるため、すぐには結果を得られませんが、こうした活動を続けて効果を数字で測定し、PRに繋がたいと話されています。

木炭については、炭焼きをおこなう者で構成される「福井炭やきの会」に所属し、技術交流や販路拡大へ向けた取り組みを行っています。毎年、福井県坂井市のグリーンセンターで行われるイベントに出展、子供たちに炭を知ってもらおうと「竹炭ペンダント」の製作体験も催しています。

「こうした取り組みを継続していくことで、幅広い層に組合の商品を知ってもらい購買に繋がたい」と話されていました。数年後には、現在効果測定中の堆肥を使用した作物の生育結果が判ります。地元の資源を有効に使い、どのような効果を生み出すのか楽しみです。敦賀木炭生産協同組合のますますの発展を期待しています。



▲木炭を焼成する窯。
1回の稼働で約5m³の炭を生産できる。



▲土壌改良用や床下調湿用などの新用途炭として製品化するものは、細かく砕く。脱臭効果もあるのが炭の特徴。福井豪雨の際に床下調湿材として使われたときは、脱臭効果が評価されたという。



▲本誌の取材に応じた宮川理事長

商品に関するお問い合わせは、組合まで ⇒ 敦賀木炭生産協同組合 TEL:0770-25-4540(綾宮川造園内)

福井県菓子工業組合

「幸せもちもち満腹祭」を開催しました！

12月5日(土)、6日(日)にハピリン1階ハピテラスにおいて、「幸せもちもち満腹祭」が開催されました。本イベントは、菓子類販売促進緊急対策事業の一環で、もちを取り扱う県内菓子店で構成された実行委員会が主催とし、福井県菓子工業組合は、福井市、まちづくり福井株式会社共催として参加しました。



▲当日の会場の様子

◆イベント概要

祝い事や年中行事の中に根付く、福井の餅文化の再認識をしてもらい、北陸新幹線県内開業に向け県外に発信していくことを目的として今年初めて開催されました。菓子工業組合に所属する組合員を含む約20店舗が協力し、8つのブースでつきたてのおろし餅・きな粉餅・ぜんざい、焼きたてのみたらし団子、あべかわ餅を来場者に販売しました。加えて、ふくいのおもち歳時記の設置や餅つきパフォーマンスなどが行われました。初日だけで来場者は3000人を超え、イベントは大盛況の結果となりました。関係者は、「コロナ禍においてイベントを開催することについて不安はあったが、餅を食べていただく機会をもって、餅文化の再認識を行っていただいたと同時に餅を使った商品のPRができたので、県内菓子店の活性化に繋がれば」と語っていました。



▲実演販売の様子(あべかわもち)



▲焼き立てのみたらし団子



▲おもち歳時記

◆疫病終息を願って

会場で振舞われたお餅の中には、福井市にある県護国神社でお祓いを受けた餅米を使用して作った「疫病終息祈願餅」の販売もされました。この「疫病終息祈願餅」は、各店舗が趣向を凝らして作っており、バラエティー豊かな餅が店頭に並びました。また、イベントオープン前には、菓祖神「田道間守命(たじまもりのみこと)」の木像を囲み、コロナ禍の終息も祈願しました。



▲お祓いを受けた餅米



▲疫病終息祈願餅



▲餅に囲まれる菓祖神「田道間守命」

ものづくり補助金 活用事例

(ふくいのものづくり企業たち 平成28年度採択 成果事例集より)

吉田酒造 有限会社

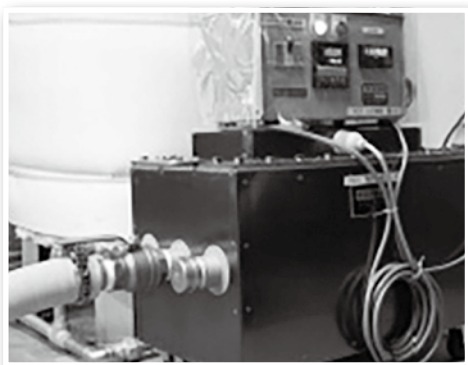
製造設備の温湿度制御による魅せる四季醸造の『真夏のしぼりたて』

四季醸造とは、外気温が低い冬季に清酒醸造を行っていたものを、機械設備を導入し四季を通じて清酒の醸造を行うことです。通常、外気温の高い時期に醸造を行うと、酸度が高くなり辛くなってしまいます。ものづくり補助金で導入した4つの装置により、四季醸造が可能となり、製造量の大きな拡大に期待が持てます。



今回導入した装置によって高められた品質で高い評価を得ている純米吟醸酒と生貯蔵原酒。

今回、吉田酒造では、消費者の嗜好に応える高品質な純米大吟醸酒等の醸造に向け、製造各工程での温度、湿度管理等の課題を解決するために4装置を導入し、品質と生産性の向上を図りました。麴づくりでは、蒸米づくりに用いる蒸気の温度を管理する「蒸気乾燥器」と、麴製造工程の湿度と温度を自動で記録・保存・監視できるシステムを導入しました。純米吟醸酒向きの高品質な麴が安定して製造可能となるとともに、従来は休み無く状態確認が必要だった作業の負担も軽減されました。さらにデータを記録することで、杜氏の経験に大きく依存していた製麴の再現性を高めました。



▲蒸気乾燥器



▲製麴温度制御システム

醸造した酒の加熱（火入れ）では「清酒加熱冷却装置」によって、65度30秒の火入れ後に急速に冷却できるため、香りや味わいの低下を防止することができます。また、タンク内の温度を適正管理できるサーマルタンクの導入で、仕込み時には低温発酵によって吟醸香を高めるとともに、製造期間も延長されました。貯蔵面でも酵素が活動しない氷温管理が可能となり、夏季の生原酒の販売が可能となりました。



▲清酒加熱冷却装置



▲サーマルタンク

上記4つの装置を活用し、製造した純米吟醸酒や無ろ過生原酒は、都市部の消費者の嗜好にマッチする品質で、従来製品以上の高い評価を獲得するとともに、製造量も着実に上げられています。

注目すべき成果

技術面のハードルをクリアし、目指す品質の酒造りが可能に。

「うま味があって、クリアできれい」という香りと味の表現が、火入れ後の冷却やサーマルタンクによって可能に。無ろ過生原酒や純米大吟醸は海外のコンクールで好成績を収め、酒販店からの引き合いも好調です。

注目すべき成果

作業負担を軽減し、その余力をさらなる品質向上に注力。

仕込みの大きな負担となっていた麹づくりや醸造時の温度管理・確認が自動化され、仕込み時期の労働負担を軽減。加えて醸造時のデータを蓄積、活用することで、さらなる酒質向上への取組みも進めます。

今後の展望

生産性と品質両面の向上で、製造量の引き上げを。

四季を通じて醸造・貯蔵ができるサーマルタンクの導入で設備面で生産量が增強されるとともに、酒質の面でも評価を高めて販路拡大を見込み、当面は800石（144,000ℓ）まで製造量を引き上げる目標を掲げています。

いつ起こるかわからない地震に備えて

『地震危険補償特約』



組合員である中小企業者や個人事業主の皆さんを
地震等の自然災害から守り、事業継続を可能とする特約です！

地震危険補償特約で万が一に備えましょう！

火災



地震により火災が
発生し家が焼失した

地震



地震により
家が倒壊した

津波



津波により
家が流された

 **福井県火災共済協同組合**

〒910-0854 福井市御幸1丁目1番1号(FM会館2階) TEL(0776)22-6000 FAX(0776)22-7471

人材の確保と企業の保全のために

——中央会の——

特定退職金 共済制度

●特 色

1 事業主が負担する掛金は加入従業員1人あたり月額
30,000円まで損金計上可能（所得税法施行令第64条・
法人税法施行令第135条）

2020年2月現在の税制に基づいた記載です。今後税制
改正が行われた場合には記載の内容と相違する場合があ
ります。

2 掛金納入月数60月以上の従業員が死亡以外の事由によ
り退職した場合、年金による受取が可能

※詳しくは、福井県中小企業団体中央会の退職金共済規程
および特定退職金共済制度パンフレットを必ずご覧くだ
さい。

資料の請求とお問い合わせ

福井県中小企業団体中央会

福井市大手3丁目7-1 ☎(0776)23-3042

引受保険会社 大樹生命保険株式会社

KB-2019-1112

印 章・ゴム印・名 刺・ハガキ

江川堂印房(株)

福井市NHK前 TEL(0776)22-4279・27-3656・FAX26-1150



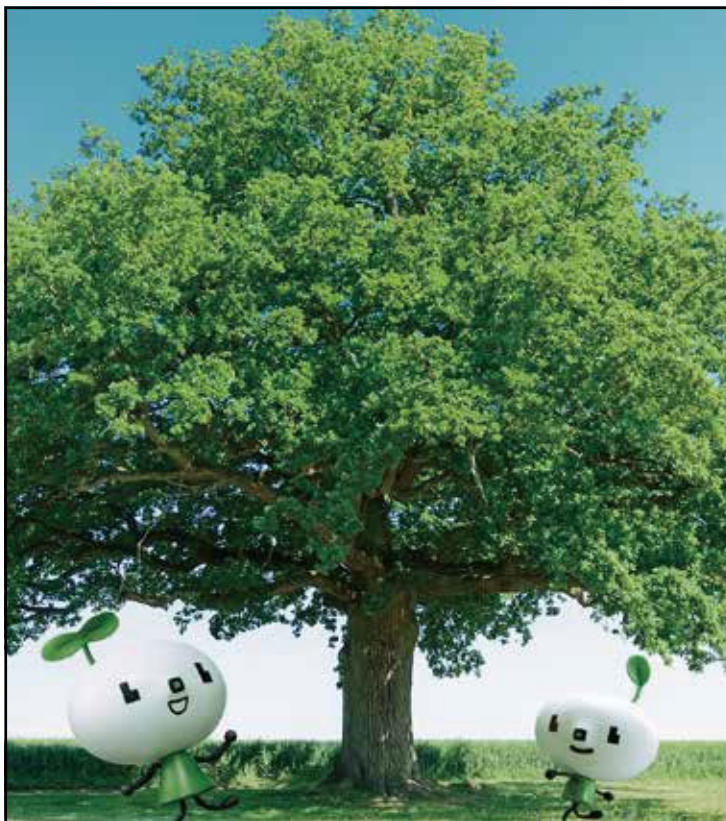
河和田屋印刷株式会社

福井本社 / 〒918-8108 福井市春日3丁目620番地 TEL.(0776)35-3333(代)
東京本社 / 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1丁目21-13 TEL.(03)3200-7777(代)
E-mail kawadaya@ruby.ocn.ne.jp

ココロを表現する

想像力が色づく

豊かな感性と確かな技術。



BESTパートナー
ALL for ALL. 大樹生命
ひとつひとつの、夢によりそう。 日本生命グループ

よりそう保険。
大樹 Taiju Select セレクト

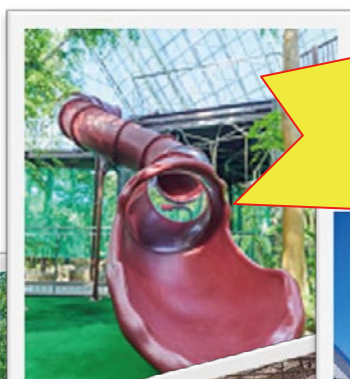
無配当保障セレクト保険

あなたにぴったりの保障を自由にセレクト!

大樹生命保険株式会社 福井支社

〒910-0005 福井県福井市大手3-14-9 商工中金E・S 福井ビル TEL:0776-24-1124
<https://www.taiju-life.co.jp/>

若狭たかはま
ELDOLAND
エルどらんど
Tel.0770-72-5890
〒919-2204 福井県大飯郡高浜町青戸4-1
関西電力
power with heart



2020年11月12日
リニューアル
オープン!!

ぼくらの星には
すごい、おもしろい、がいっぱいだ!

営業時間 9:30~17:00

空中アスレチック営業時間10:00~17:00

* 12:00~13:00は空中アスレチックをご利用いただけません。
* 最終受付時間は待ち時間の状況により変わります。

休館日

月曜日(月曜日が祝日の場合は翌平日)
年末年始(12/29~1/3)

料金

入館料・駐車料 無料

・空中アスレチック
おとな1,500円 税込(高校生以上)
こども1,000円 税込(小・中学生)



詳しくはHPを
ご確認下さい。

商工中金は、経営の総合支援パートナーへ。

01.

全国ネットワーク支援

全国ネットワークで、
企業間の連携をサポート。

47都道府県に広がる店舗網や、7万社以上のお客さまとのリレーションを活かし、商工中金はビジネスマッチングや事業承継・M&Aなど、企業の縁結びをサポートします。

02.

組合支援

中小企業組合の活動を、
情報と金融でサポート。

個々の企業では解決しきれないさまざまな課題に、連携して対応する中小企業組合。商工中金は、組合運営のフォローや情報提供、ご融資まで、組合活動を継続的にサポートします。

03.

海外展開支援

海外進出を、情報と金融で
継続的にサポート。

海外拠点や現地の政府機関、提携金融機関とのネットワークを活かし、商工中金はお客さまの海外進出検討段階から現地での事業拡大ニーズまで、幅広くサポートします。



人を思う。未来を思う。

商工中金

福井支店 0776(23)2090

〒910-0005 福井市大手3-14-9

<https://www.shokochukin.co.jp/>

新型コロナウイルス感染症に関する
商工中金の対応について

商工中金は、「新型コロナウイルス感染症に関する特別相談窓口」を開設し、影響を受けた中小企業の皆さまの資金繰り相談等に対応しております。
〈お問い合わせ先〉0120-542-711（平日および土日祝日 午前9時～午後5時）